

特別支援学校教育専修，特別支援教育コーディネーター専修等

科目名：保護者・教師への支援

担当教員：苅田知則

登録学生数：5名

保護者・教師への支援に関する授業報告

特別支援教育講座・苅田知則

1. 授業の概観

本授業は、特別支援教育コーディネーター (SSEC) としての専門性を習得するために必要な科目であり、SSEC として教育実践を行っていく上で必要不可欠な専門的スキルや共感的態度を学ぶことを目的とした。そのため、通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒本人、保護者、教師・学校を支援するためのコンサルティング、カウンセリング手法を習得することを目的とした。

2. 授業内容

授業スケジュールは、以下の通りであった。

- ・学校現場における特別支援教育の現状
- ・調整役に必要な基礎知識
 - ・障害特性の理解と概念整理、倫理
- ・相談・調整・交渉技術に関する心理学的技法
- ・保護者・教師・関連施設との連携
- ・知能検査等の根拠に基づいた助言・交渉
- ・知能検査等の現場への活用
 - ・個別の指導計画・教育支援計画立案
- ・問題解決的ロールプレイと省察
 - ・保護者への聞き取り・実態把握と傾聴技術
 - ・アセスメントの結果報告と指導計画の説明
 - ・クラスメイト等との関係調整
 - ・校内外における支援体制作り：校内委員会、PTA、医療機関等

問題解決場面における知識・スキルを高めるために、前半部は社会心理学の用語等を概説すると共に、相談・調整・交渉に関わる心理学的技法について講義を行った。後半部では、問題解決的ロールプレイとして、設定された課題に対して小集団（2～5人）で討議を行い、その上で役割分担をした後にロールプレイを行った。ロールプレイ後、各役割を演じた感想を全体で共有し、保護者・教師等の心的状態について共感的理解を促進するよう努めた。加えて、各グループのロールプレイを他のグループが観察しながら、感想を述べ合う機会を設け、第三者的立場から、相談・調整・交渉場面の言動や技法について省察を加えた。最終的には、県教育委員会の巡回相談等において、相談員として保護者・教師に助言・指導を行う課題を設定し、ロールプレイにおいても担当教員から助言を行った。

3. 授業時間外学習の促進

授業時間外学習として①授業中に学んだ知能検査の精密な分析（プロフィール分析等）に考察を加える、②問題解決において連携する可能性のある相談機関

（保健医療福祉機関含む）を列挙する、③附属特別支援学校の研究大会に参加して保護者・関連職種（保健医療福祉領域、産業領域等）の現状を把握する、の3点を設定した。

4. 授業評価法

無記名による4段階、もしくは6段階尺度のアンケートと、記述式のアンケートを行った。アンケートは、授業に対する自由な回答を保証するために、最終レポート提出後、無記名式で行った。

4.1. 印象に残っている内容と回答数

- | | |
|-------------------------------|---|
| ・ロールプレイによる支援方針の検討 | 1 |
| ・担任を変えてほしいという保護者との話し合いのロールプレイ | 2 |
| ・教育相談遂行に資する心理学的知識・スキル | 1 |
| ・ロールプレイの中で保護者の持つ特性と要求への対処 | 1 |

4.2. ルーブリック評価の項目と回答数

- ア) 保護者支援に必要なカウンセリング・コーディネート
の基礎知識と基本的な態度を理解する。
- | | |
|--------------|---|
| かなり達している | 1 |
| どちらかという達している | 4 |
- イ) 発達障害等がある児童生徒の家庭に生じる問題を共感的に理解しようとする態度を身につける。
- | | |
|--------------|---|
| かなり達している | 4 |
| どちらかという達している | 1 |
- ウ) 児童生徒と家族を支援するために必要な具体的な方策を考えることができる。
- | | |
|--------------|---|
| かなり達している | 2 |
| どちらかという達している | 3 |
- エ) 保護者と担当教師・学校の間が生じやすい問題がわかり、どのような環境・関係調整が必要かを説明できる。
- | | |
|--------------|---|
| かなり達している | 4 |
| どちらかという達している | 1 |

5. 考察

ルーブリック評価の結果をみると、受講者全員が肯定的評価に到達していることが示唆された。また、印象に残っている内容として、問題解決的ロールプレイが挙げられており、実践的な演習と省察であったことから受講者の印象・記憶に残ったと考えられる。次年度から教職大学院に移行し、科目名や内容にも変更が生じるが、本授業で取り入れた問題解決的ロールプレイのような実践的演習と省察については、実践力や教員としての資質向上につながることを期待されることから、積極的に導入したいと考えている。